

1. 目指す学校像

建学の精神である「力の人」、そして「高い志」「豊かな感性」「他への思いやり」という3つの教育理念を踏まえ、主体的に未来を創る女性を育てる。

「自学主義」の伝統に則り、知識蓄積と知識活用を両輪に「対話的で深い学び」を軸とした、21世紀型の学力を身につける授業を展開する。

2. 中期的目標

5ヶ年計画（2021～2025）

1. エンロールマネジメントの強化
2. 教職協働の強化
3. 財務基盤の強化

上記3点を目標に改革を進める。

1. エンロールマネジメントの強化

（1）生徒指導力の強化

- ① 創発講座の充実とアクティブラーニングの強化
- ② エンロールマネジメントによる募集と進路のリンク
- ③ 多様な進路への対応
- ④ 生徒の基本的な生活習慣の確立

（2）学習環境の増強

- ① ラーニングコモンズ第二期工事
- ② ICT環境の整備

（3）教科指導力の向上

- ① 大学入学共通テスト等の研究
- ② 高い教育力・授業力の実現

（4）生徒学力の向上

- ① コースに応じた目標設定

2. 教職協働の強化

（1）教職協働の促進

- ① 教員・事務職の業務相互乗り入れ
- （2）ガバナンスの強化
- ① 教員の業務量および労働時間の適正化

（3）教育環境の整備

- ① 適正な教室数の確保と教育環境の改善

3. 財務基盤の強化

（1）入試募集の強化

- ① 安定した中学入試募集による予算基盤の強化
- ② 安定した高校入試募集による予算基盤の強化

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

自己評価アンケートの結果と分析	学校評価委員会からの意見
<p>本校では「部署毎の年度総括」「保護者評価アンケート」「生徒授業アンケート」の3種類の資料を元に自己判断を行っている。</p> <p>(1) 教育課程について 教育課程の適切な整備については、82%が肯定的な意見となり、前年度と同水準だった。進路指導体制についても70%が肯定的な意見と同水準を維持した。コース毎の進路指導を見直し、満足度の向上に努める。</p> <p>(2) 学習指導について 学力向上や学習内容の定着について、68%が肯定的な意見を述べており、昨年比で上昇した。教育研究委員会の主導で教員による授業見学と相互評価を実施し、授業力の強化に努める。</p> <p>(3) 進路指導について 進路指導の充実、進路情報の提供について、肯定的な意見は68%であった。対面での進路説明会や各大学を招いての相談ブースの数をさらに増やし、適切な情報の提供に努める。</p> <p>(4) 生徒指導について 生活指導の充実、人権教育の充実、差別やいじめの防止に関する肯定的な意見は昨年より上昇し、80%を越えた。時代に即した校則づくりを意識しながら、現行の指導を継続していく。</p> <p>(5) 課外活動について 部活動と学習の両立は80%と昨年より上昇した。学校行事の充実に対する肯定的な意見も66%と大幅に向上した。コロナの5類移行に伴い、学校行事を以前の水準に戻していく。</p> <p>(6) 安全管理 登下校の安全や交通マナーに関する指導は肯定的な意見が84%と高い水準を維持した。施設の安全性と衛生的な管理は肯定的な意見が93%に達し、保護者の高い満足度がうかがえる。</p> <p>(7) 情報発信 授業参観やPTA行事の開催を一部再開したことから、満足度は79%と大幅に上昇した。学校からの情報発信についても89%に上昇し、コロナ禍で導入した新しい連絡手段が有効に機能していると思われる。</p> <p>(8) その他 入学させてよかったとの意見は85%と前年を上回った。教員間の一貫した対応について、肯定的な意見が72%と前年の水準を維持した。学校全体として、生徒・保護者のさらなる満足度向上を目指す。</p>	<p><自己評価に対して></p> <p>(1) 教育課程について ・魅力的なプログラムやコースの特徴を明確に伝え、生徒や保護者に情報を提供されている成果がアンケートに表れている。</p> <p>(2) 学習指導について ・情報過多で何を取り入れて勉強を進めるべきなのか悩むことも多い中、質の高い指導を実践してくれて安心を得ている。</p> <p>(3) 進路指導について ・高校だけではなく中学の早い段階から、様々な入試の特徴や準備しておくべきことについて知る機会を設けてほしい。</p> <p>(4) 生徒指導について ・スマホの利用ルールを改定したことで、SNSの利用の仕方など、規則を守る意識が非常に高くなったと感じている。 ・アフターコロナにおける新たな課題を「生徒とともに」発見するといった点は素晴らしいと思う。</p> <p>(5) 課外活動について ・課外活動への評価は、コロナの情勢が落ち着いたことで保護者にも参加できるものが増えたことによるものだと感じる。</p> <p>(6) 安全管理 ・教育環境の改修は、教員・生徒にとってもモチベーションが上がることと思います。また、それが保護者の高い評価にもつながったと思います。</p> <p>(7) 情報発信 ・帰宅してからも届くClassi連絡など、先生方が生徒一人ひとりに対して多大な時間を割いていることが容易にうかがえる。 ・学校の様子が保護者に十分に伝わっていない面があり、発信の仕方に何か課題があるのかと考えます。</p> <p>(8) その他 ・学校行事においては肯定的な意見が上回っている点はよいが、改善が必要な結果については見直しをお願いします。 ・円グラフの項目が一部見にくいです。また、何人かがアンケートに答えられたのか母数を提示してください。</p> <p><保護者による学校評価について(過年度比較)></p> <p>・コロナ禍で学校に行く回数が少ない中、今回の保護者アンケート結果は素晴らしいと思う。否定的な評価の方の意見をうかがうことができれば、いっそう良い学校になっていくはず。</p>

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

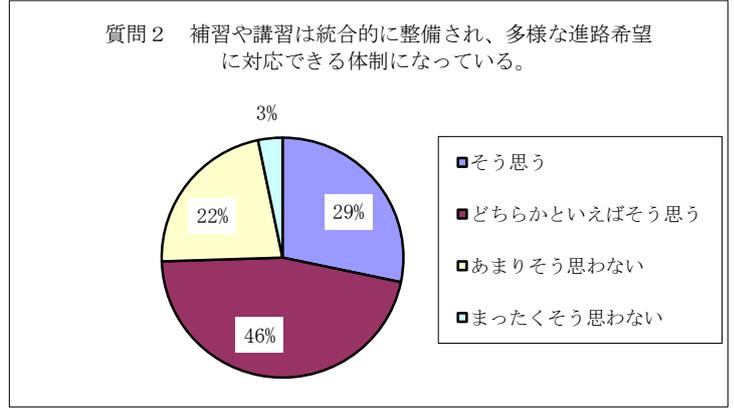
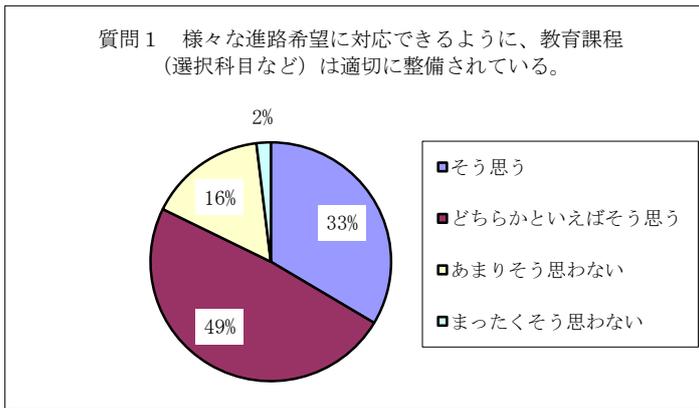
中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
1 (1) 生徒指導力の強化	①創研究講座の充実とアクティブラーニングの強化を目指す。	①創研究講座において、学部 に紐づいた講座数を維持 するとともに、レポート作 成やプレゼン発表など生 徒主体の学習のさらなる 充実を図った。	①学校運営会議 による検討および創研究 講座委員会との協議およ び保護者アンケート「学 習指導」項目満足度 70%	①創研究講座の講座数を 確保するとともに、卒業 レポートの指導を通じて 大学入試で必要となる 思考力を養う取り組み を行った。保護者アン ケートは70%近くとな り、前年比で向上した。	①次年度以降も講座内 容を精査し、内容の見 直しを継続する。保護 者アンケートは満足度 70%に達することを目 指す。
	②エンrollmentマネジメントによって募集と進路の情報をリンクさせる。	②エンrollmentマ ネジメントの一環とし て、各コースの卒業生 からヒアリングを行い、 社会につながるトラ ンジション教育の検 証を行った。	②エンrollment マネジメント委員会と 進路指導部による分 析および保護者アン ケート「進路指導」 項目満足度70%	②社会で活躍するた めの力と、中高時代に 受けた教育との関連 を調査するため、様 々な分野で活躍する 卒業生にインタビュー を行った。保護者アン ケートは目標値を上 回った。	②インタビュー内容 を実際の指導やカリ キュラムにフィード バックさせて改善に 取り組む。保護者アン ケートは肯定的な意 見の割合をさらに増 やす。
	③コース毎の多様な希望に応じた、きめ細かい進路指導を行う。	③昨年度に続き、進 路面談の充実と、各 大学を招いての学部 ガイダンスを行い、 キャリア教育を行う とともに推薦入試の 個別指導を行った。	③エンrollment マネジメント委員会 と進路指導部による 分析および保護者 アンケート「進路 指導」項目満足度 70%	③自己推薦型入試 での小論文や面接に 対応するため、一部 の対策を外部講師に アウトソーシングす るとともに、個別指 導を充実させた。	③進路指導への満 足度の向上を目指す。 大学入試の変化と多 様化を注視しながら、 即応できる体制を整 えていく。
	④生徒各自に行動を考えさせ、自律的に行動できる指導を行う。	④生徒が社会の中 で自分らしく生きる ことができ、大人へ と成長するよう、 生徒に自己選択や 自己決定の場を 与える。以下の3 点を課題とした。 1. 自治会・生徒会 を活性化する。 2. 携帯・スマホ の利用ルールを 改訂する。 3. アフターコロ ナ対応としての 「集団考動力」を 構築する。	④生徒指導部の 年間計画および 保護者アンケート 「生徒指導」項目 満足度80%	④以下の3点を 生徒指導部で 実施した結果、 保護者アン ケート「生徒 指導」項目 は昨年度と 同水準の 80%を 維持した。 1. 生徒が選挙 公約内容を 実現する手 順について 検討した。 2. 携帯・スマ ホ利用のル ールをより 現実に則し た内容に 改訂した。 3. 学年集会、 アリーナ朝 礼、全校朝 礼の再開に 向けての計 画を策定し た。	④うまくいった 取り組みを 継続すると ともに、アフ ターコロナ における新 たな課題を 生徒と共に 発見し、保 護者アン ケートにお いて肯定的 な意見が 80%を越 えるよう 努力する。

中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
1 ② 学習環境の 増強	①アクティブ ラーニングを 強化するため、 さらに施設を 拡充する。 ②ICT 環境を さらに整備し、 校内Wi-Fiの有 効利用を目指 す。	①ラーニング コモンズ第 三期工事として、 化学室・ 生物室をオー プンラボへ と改装した。 ②リース PC の所持が中 学全学年とな り、貸与 PC も含めた有効 利用を5教科 中心に行った。	①管理職と各 部長で構成す る学校運営会 議での議論お よび保護者ア ンケート「安 全管理」項目 満足度 90% ②管理職と各 部長で構成す る学校運営会 議での議論お よび保護者ア ンケート「安 全管理」項目 満足度 90%	①化学室・生 物室の壁を取 り払い、コミ ュニケーショ ンスペース「S ラボ」には大 型の実験台と 大学レベルの 実験機器を配 した。また、 隣接する屋外 に実験農場を 開設した。保 護者アンケート は 93%と非常 に高い数字と なった。 ②前年度に引 き続き、スタ ディサプリな どのアプリを 用いたリース PCの活用を行 った。また、 貸与 PC の更 新やメンテナ ンスを適時実 施した。保護 者アンケート は目標を達成 した。	①引き続き物 理室の改装に 着手し、オー プンラボの完 成を目指す。 また、保護者 アンケートの 満足度維持を 目指す。 ②美術コース を中心に、電 子ペンとペイ ントソフトを インストール した iPad の 導入を行う。 また、保護者 アンケートの 満足度維持を 目指す。
1 ③ 教科指導力 の向上	①新学習指導 要領および大 学入試共通テ ストの研究を 継続する。 ②コース毎に 必要とされる 高い教育力・ 授業力を実現 するため、個 々の教員の指 導力向上に努 める。	①昨年度に引 き続き、大学 入試共通テスト に対応すべく 、AO入試を含 む各大学の過 去問の蓄積お よび分析を行 うと同時に、 教科「情報」 の取り扱いに ついてデータ 収集を行った。 ②大学入試共 通テストの内 容について各 教科が分析を 行いレポート にまとめた。 また、思考力 や記述力の求 められる入試 に対応できる 授業力を身に つけるよう各 教員が努めた。	①エンロー ルメントマネ ジメント委員 会と教務部 による分析 および保護 者アンケート 「教育課程」 項目満足度 80% ②学校運営 会議による 検討および 教務部と各 教科会との 協議および 保護者アン ケート「学習 指導」項目 満足度 70%	①教育効果を トランジショ ンの観点から 評価するため 、アンケート フォームおよ びインタビュー で社会人とな った卒業生の 追跡調査を行 った。保護者 アンケートの 満足度は 82% と昨年と同 水準を維持し た。 ②従来型の 対面授業に加 えて、コロナ 禍で培った教 材等のオンデ マンド配信を 効果的に併用 して教育の質 を高めている 。保護者アン ケートの満足 度は 70%近 くとなり、前 年の水準を維 持した。	①1年をかけ て新たに導入 する教務シス テムの内容を精 査する。また 、教科「情報 」について共 通テストの内 容と対応する 指導を行う。 保護者アン ケートの満足 度は、引き続 き 80%以上 を目指す。 ②5教科にお いてリース PCとデジタル 教材を効果 的に利用し、 指導の密度 を高める方 法をさらに 模索する。ま た、保護者 アンケートが 70%を越 えることを 目指す。
1 ③ 生徒の学力 向上	①英検取得 や模試偏差値 などコースの 特性に応じた 目標設定とそ の達成を目指 す。	①生徒各自 の成績や検定 の取得状況を 把握し、コー スの特徴も踏 まえながら、 必要な進路 指導を適宜実 施した。	①エンロー ルメントマネ ジメント委員 会による分 析および保護 者アンケート 「教育課程」 項目満足度 80%	①進路指導 部主導の模 試分析会や 担任による 面談を実施 し、生徒の 成績と進路 志望の把握 に努めた。 エトワール コースでの 国立大学合 格者は3年 連続で 30% を越えるな ど、多くの 生徒たちが 希望の進路 を実現した。 保護者アン ケートの満 足度は 80% を越えてい る。	①引き続き 、生徒・保護 者との面談 や大学によ る進路講演 会を行う。ま た、志望理 由書や小論 文の対策講 座と添削指 導を通して 、求められる 記述力の向 上を図る。 保護者アン ケートの満 足度維持を 目指す。

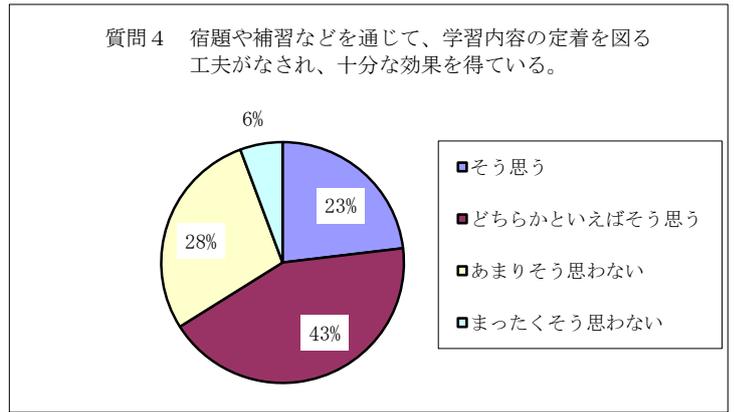
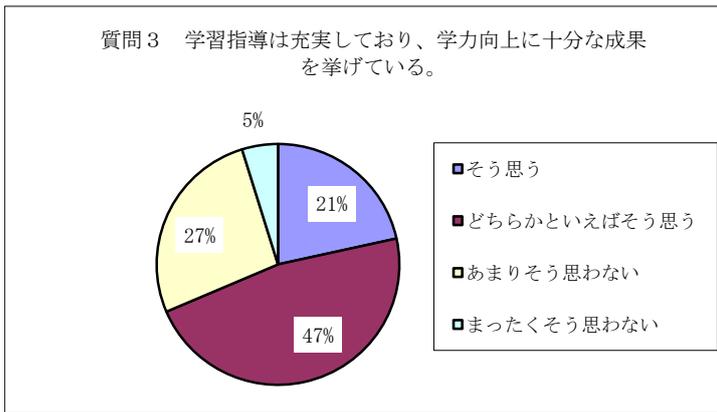
中期的 目標	今年度の 重点目標	具体的な 取り組み	評価指標	自己評価	課題と改善策
2 (1) 教職協働の促進	①事務機能を強化し、教職協働をさらに促進する。	①教頭と事務長の情報共有を密に行い、様々な業務の円滑化を図った。	①法人本部・教頭・事務局による協議	①教室改装や人事採用を含めて解決すべき課題の共有を行い、業務をスムーズに行うことができた。	①現状を維持しながら、解決すべき課題の発見や業務のさらなる効率化を目指す。
2 (2) ガバナンスの強化	①働き方改革に伴い、教員の業務量および労働時間の適正化を図る。	①前年度に引き続き、各教員について月毎の労働時間を確認し、一定水準より多い者に対して面談と仕事量の軽減を行った。	①教頭・法人本部とのワーキンググループによる協議	①ワーキンググループでのヒアリングにより、長時間労働の教員数を減らすことができ、各教員の仕事量と取り組みについてさらなる改善が見られた。	①同様の取り組みを今後も継続し、無理なく働きながら生徒・保護者の満足度を維持できる職場環境の構築を目指す。
2 (3) 教育環境の整備	①生徒数に対して適正な教室数を確保する。	①状況に応じて、教室の適正な改築や配置換えを行った。	①管理職および学校運営会議による協議と保護者アンケート「安全管理」項目満足度 90%	①クラス増に伴い、3階PC室と401教室の改装を行った。また、AVホールを2つの特別教室に分割・改装し、教室数を増やした。保護者アンケートは93%と高い水準を維持した。	①化学室・生物室に続いて物理室の改装を行い、STEAM教育の拠点となる施設工事を実施する。
3 (1) 入試募集の強化	①中学募集における入試行事を早期実施し、開催回数を増やす。 ②高校募集での入試行事参加者を増やし、受験者数の上昇を目指す。	①コロナの流行状況を随時確認しながら、入試イベントの収容人数や実施回数などを柔軟に調整した。 ②中学校訪問の人数と頻度を増やし、イベント接触者へは継続して入試情報提供を行った。	①入試広報部とアドミッションセンターによる分析および保護者アンケート「その他」項目満足度 80% ②入試広報部とアドミッションによる分析	①感染症対策を充分に行った上で、コロナの流行状況に応じた入試イベントを適宜実施することができた。「この学校に入学させて良かった」と回答した保護者は昨年と同様 85%に至った。 ②あらかじめ公立中学校の生徒数を調べ、入試行事のリーフレットを送付するとともに、教員による訪問を随時行った。感染症対策を充分に行った上で、入試イベントも例年通り実施することができた。	①コロナの5類移行に伴い、入試行事の頻度と内容を検証しながら、進む少子化の中での入学人数確保を目指す。 ②本校の魅力を優秀な生徒にアピールすることで、高校受験者の安定した確保を目指す。

<2022年度 帝塚山学院中学校高等学校 保護者による学校評価アンケート結果>(委員＋一般)

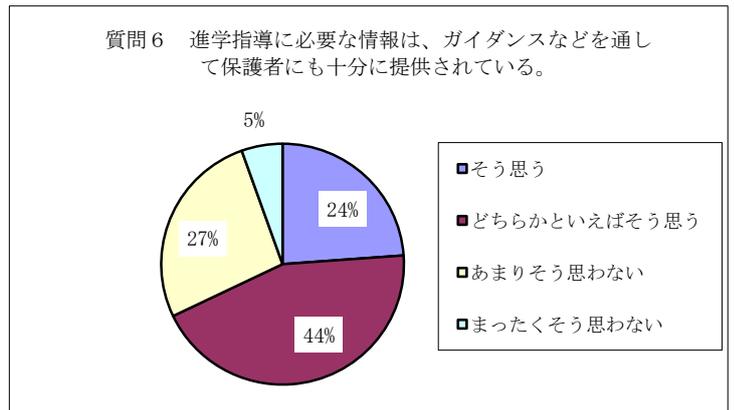
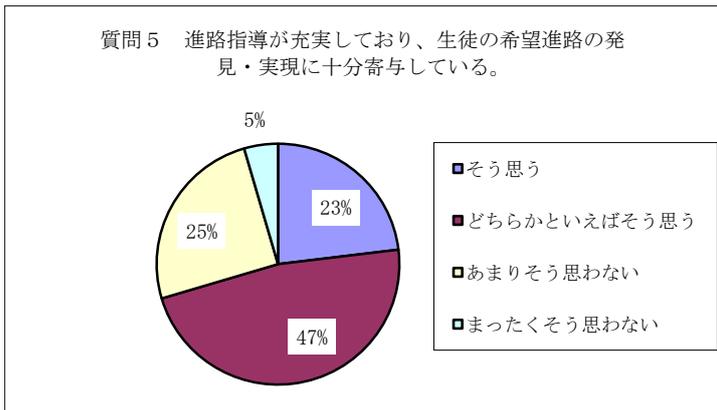
<教育課程>



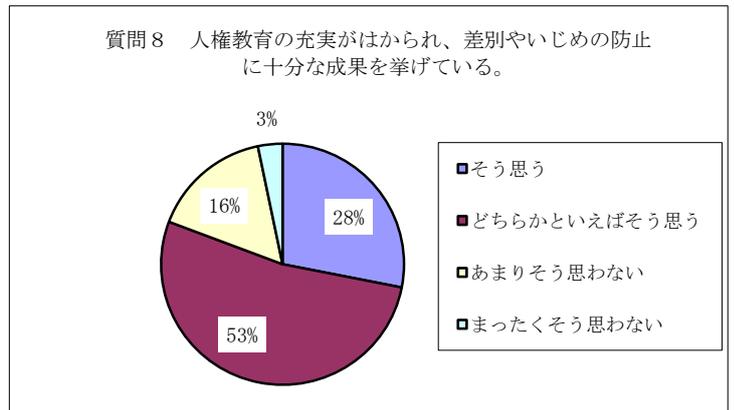
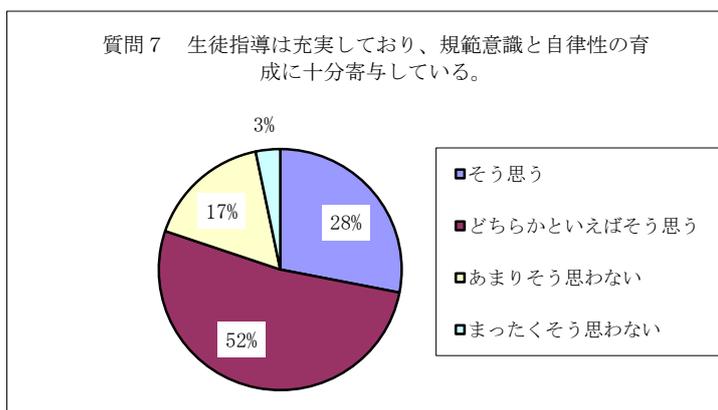
<学習指導>



<進路指導>

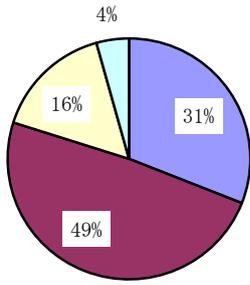


<生徒指導>



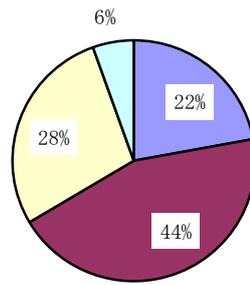
<課外活動>

質問9 部活動は学習との両立について配慮がなされているとともに、生徒に十分な指導が行われている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

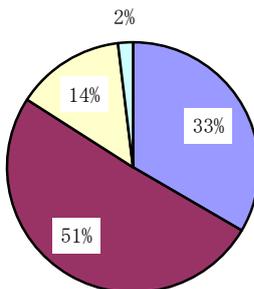
質問10 学校行事は充実しており、生徒の自主性の育成に役立っている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

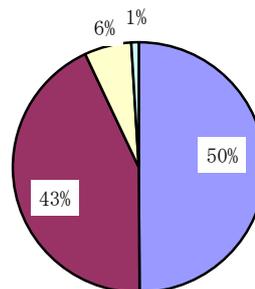
<安全管理>

質問11 登下校の安全や交通マナーに関する指導が、十分なされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

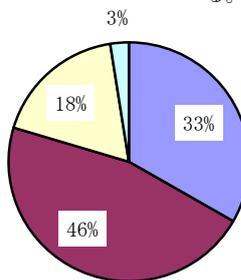
質問12 施設・設備は安全かつ衛生的に管理・整備がなされている。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

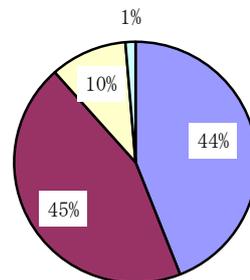
<情報発信>

質問13 授業参観やPTA行事は適切な頻度で行われており、学校の様子をうかがい知る機会として機能している。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

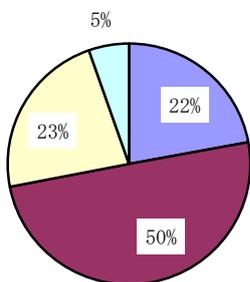
質問14 学校からのお知らせ文書などを通じて、必要な情報を不足なく得ることができる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

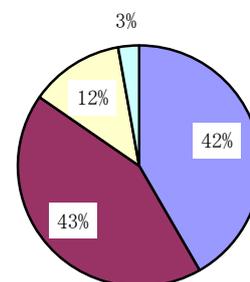
<その他>

質問15 教員はチームワークがとられており、どの教員に相談しても、一貫した対応が期待できる。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

質問16 この学校に入学させてよかった（知り合いや親戚にもこの学校を勧めたい）と思う。



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない